

**フォーラム「子どもの貧困を考える」**  
**—北海道・札幌市における子どもの生活実態調査から—**  
**開催要綱**

**1 目的**

国の調査では、7人に1人の子どもが貧困であると報告されているところ、北海道及び札幌市が北海道大学と共同で実施した「子どもの生活実態調査」の結果を通じ、本道の子どもの貧困の現状について理解を深めるとともに、子どもの貧困の課題と対策について道民で考えることを目的とする。

**2 主催**

北海道、札幌市、北海道大学大学院教育学研究院「子どもの生活実態調査」研究班

**3 共催**

北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター、北海道新聞社

**4 後援（予定）**

北海道経済連合会、北海道経済同友会、一般社団法人北海道商工会議所連合会、北海道商工会連合会、北海道中小企業団体中央会

**5 日時**

平成29年12月16日（土）13:00～16:00（開場12:00）

**6 会場**

北海道大学学術交流会館講堂（札幌市北区北8条西5丁目）

**7 参加対象者**

子どもの貧困に関心のある方

**8 定員**

300名

**9 参加費**

無料

**10 プログラム（予定）**

- (1) 開会（北海道、札幌市、北海道大学大学院教育学研究院）
- (2) 報告 「調査からみる子どもの貧困」  
報告者 松本伊智朗（北海道大学大学院教育学研究院教授、研究班代表）
- (3) パネルディスカッション 「北海道の子どもの貧困対策を考える」  
パネリスト 北海道保健福祉部子ども未来推進局  
札幌市子ども未来局子ども育成部  
山野 良一氏（名寄市立大学教授）  
辻 智子氏（北海道大学准教授）  
高橋 勇造氏（特定非営利活動法人Kacotam理事長）  
村尾 政樹氏（公益財団法人あすのば事務局長）  
司会 松本 伊智朗

**11 参加申込方法**

12月6日（水）までにウェブ又はFAXにより、事務局に申し込む。なお、参加者が定員に満たない場合は、申込期限後であっても随時受け付け、当日参加も可能とする。

**12 事務局**

事務局は、北海道保健福祉部子ども未来推進局子ども子育て支援課が担うものとする。